

01 教会ニュース

海外からのメッセージ!

人類の救いのためにこの地上に来られたイエス様のお生まれを祝って、イスラエルとパレスチナの教会者が送って来たメッセージ。

02 いのちのみことば

肉的なこと御霊に属すること

私たちの心に御霊の実が実るほど御霊に属することを考えるようになり、永遠のいのちと平安に至る。

03 企画特集

「思う存分歩いて走れるようになりました！」
切れた足首の靱帯が神の力ですみやかにいやされた韓国のイ・ジョン伝道師は神の生きておられることをさらに熱く伝えている。
支教会2月スケジュール

04 証し

「ハンカチに込められた神の力を体験しました」
エイズから解放されたケニアのエドウィン聖徒と、娘の皮膚病がいやされた韓国のチ・ヘスン執事の証し。

万民ニュース

第195号 2019. 1. 27.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063
www.manmin.org

「私たちのためにこの地上に来られた主、感謝します！」 イスラエルとパレスチナの牧会者からのクリスマス・メッセージ

「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように。」(ルカ2:14)
イエス様ご生誕の地、パレスチナとイスラエルの牧会者たちが
自分たちが受けた恵みの証しを伝えて来た

ベツレヘム 「多くの迫害と困難、牧会の危機の中から確信を頂きました」

2007年、イ・ジェロク博士とともに祝ったクリスマスは決して忘れられません。

ここベツレヘムはイエス様がお生まれになった所なのに、住民の90%以上がイスラム教を信じているアラブ人なので、牧会して福音を伝えるには多くの迫害と困難に直面します。

私もつらい時を送っていたので、働きを続けられなくなりました。ところが、イ・ジェロク博士がベツレヘムに来られて、クリスマス礼拝を導いてくださったのです。礼拝にはみことばといやしを慕う200人余りのクリスチャンが集まり、多くの人が聖霊の満たしに加えて、心の願いがかなえられました。

韓国の宣教チームの訪問は想像もしていなかった、主からのクリスマスプレゼントでした。博士は私たちに、ベツレヘムには神様の摂理がある、確信を持って働きを続けるように、とアドバイスしてくださいました。博士はただ言葉で励ますだけでなく、今日まで霊的、経済的な支援をしてくださっています。

イ・ジェロク博士に出会って、霊肉ともに博士の支援を受けるようにしてくださった神様に、感謝と栄光をささげます。万民教会の聖徒の皆さん、神様の大きいなる祝福がともにありますように。メリークリスマス！



ニハッド・サルマン牧師

エルサレム 「イスラエルの牧会者が福音伝道において一つになりました」

私たちイスラエルの牧会者はイ・ジェロク博士に出会った時から、その方の愛と祈りと支援を通して一つになったので、強くされ始めました。私も初めて博士のことを聞いた後、朝の祈りのたびに、心におられる聖霊がその方に会うべきだと示されました。間もなく博士は宣教チームとともにイスラエルに来られました。博士にお会いした瞬間、神の愛で満たされた神の人だと感じられました。

2008年11月、イスラエルの牧会者たちが集まって「クリスタルフォーラム」という団体を結成し、翌年9月初めにエルサレムで、イ・ジェロク博士を講師に「イスラエル連合大聖会」を開

催し、成功裏に終わりました。それ以降、私たちは公共の場で毎年賛美フェスティバル、記念聖会などの行事で福音を伝えています。以前は想像もできなかったことです。

現在、クリスタルフォーラムの牧会者たちはイ・ジェロク博士に祈りを受けて神の力が込められたハンカチ(使19:11~12)を持って、全世界に聖潔の福音を伝えています。私もCMTNという放送を通して伝えています。これらすべては私たちの救い主イエス様がなされたことです。

イスラエルを心より愛してくださるイ・ジェロク博士と万民の聖徒の皆さん、愛しています。メリークリスマス！



オレン・レブ・アリ牧師

ハイファ 「博士の神の力ある祈りで妻と娘が健康になりました」

私たちはイ・ジェロク博士の誠実さと主への愛をよく知っています。博士の3年間のイスラエルの宣教は多くの教会と牧会者を目覚めさせ、力づけました。イスラエル全域を巡ってみことばを伝えられ、神様が博士とともにおられることを確信させてくれました。これを通して私たちは一つになり始め、福音宣教に励みました。

その上、私は妻ががんで苦しんでいたのとつらい時を送っていたのですが、博士がイスラエルに来られるたびに妻のために祈ってくださり、妻は非常に早く回復しました。私

は幸せを取り戻したのです。また、末娘は小さい時から視力が非常に悪くて、分厚いめがねをかけなければならなかったのですが、博士に祈りを受けた後、視力が驚くほど良くなり、今でもめがねをかけなくてすんでいます。

イ・ジェロク博士、10年以上変わらぬ祈りと支援に感謝します。博士と万民教会の聖徒の皆さんが私たちのために祈ってくださっているように、私たちも皆さんのために切に祈っています。主の平安とクリスマスの祝福がともにありますように、メリークリスマス！



ダニエル・マチャシュ牧師

「神は光であって」シリーズ2

肉的なことと御霊に属すること

「肉に従う者は肉的なことをもっぱら考えますが、御霊に従う者は御霊に属することをひたすら考えます。」

-ローマ8:5~6-

“

肉的なこととは、まだうわべに現れはしないが、行いとして誘発されうる真理でない属性一つ一つを指し、御霊に属することとは、聖霊が私たちのうちに来られて行うすべてのことを言う。

”

万民中央聖潔教会・堂会長イ・ジェロク牧師

神は暗いところが少しもない、光であられる(ヨハ1:5)。私たちが闇を捨てて光に入るほど、神の愛と祝福を頂くことができる。ところで、光に入るために最も重要なものは人の思いである。

もし神に対して反抗する肉の思いがあれば、罪を犯して死に至ることもある(ローマ8:7)。それなら、私たちがどのようにすれば肉の思いを捨てて、御霊による思いをして永遠のいのちと平安を持つことができるだろうか。

1. 「肉的なこと」と「御霊に属すること」を明確に区別してこそ

<ローマ8:5>に「肉に従う者は肉的なことをもっぱら考えますが、御霊に従う者は御霊に属することをひたすら考えます。」とある。それでは、肉と肉的なこと、霊と御霊に属することとは何だろうか。

まずここで「肉」とは、悪い敵である悪魔を通して入って来た罪の性質と私たちのからだ結びついたものを言う。

罪を犯したアダムによって、その子孫であるすべての人が遺伝的に罪の性質を持って生まれるようになるが、これを原罪と言う。また、世で生きていながら自分で犯した罪もある。このような罪によって真理が抜けて行った人のからだに、悪い敵である悪魔を通して入って来た罪の性質が結びついたものを肉と言うのだ。

使徒パウロが「私は、私のうち、すなわち、私の肉のうちに善が住んでいないのを知っています。…そういうわけで、私は、善をしたいと願っているのですが、その私に悪が宿っているという原理を見いだすのです。

…ですから、この私は、心では神の律法に仕え、肉では罪の律法に仕えているのです。」(ローマ7:18~25)と告白したとおり、もし私たちが神の律法に仕えないで、罪の律法に仕える肉に従って生きれば、神のことばどおりに生きられないから、結局、永遠の死である地獄に行くしかない。

次に「肉的なこと」とは、まだうわべに現れてはいないが、行いとして誘発されうる真理でない属性の一つ一つ分けたものを言う。すなわち、憎しみ、偽り、情欲、高ぶりなど、心の中に潜在しているあらゆる汚れたものがこれに属している。世の人々はこのような罪の属性を心に抱いているからといって、それを罪だと言ったりはしない。

しかし、神は各人の心をご覧になる方なので、まだ行いで罪を犯していないとしても、心に抱いているならば罪とみなされる。もし心の中では憎しみがいっぱいなのに、うわべでは違うふりをして飾るなら、これは兄弟を憎む罪はもちろん、偽善の罪まで加えて、神の御前に大きい罪を犯しているということを悟らなければならない。

肉的なことをもっぱら考えていただけでなく、具体的な行いとして現われたものは「肉の行い」と言う。<ガラテヤ5:19~21>に「肉の行いは明白であって、次のようなものです。不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、醜態、遊興、そういう類のものです。前にもあらかじめ言ったように、私は今もあなたがたにあらかじめ言うておきます。こんなことをしている者たちが神の国を相続することはありません。」とあるが、このような肉

の行いを総称して、これもまた「肉」と言う。

このように聖書で言う「肉」にはいくつかの意味があるが、結局は「朽ちてなくなり、変質して醜くて汚れたすべてのもの」を総称している。すなわち、私たちの目に見える森羅万象をみな肉と言うのだ。また、自分が肉的なことをもっぱら考えていて、肉の行いをしていながら、闇にとどまっているということだから、闇の権威を持つ敵である悪魔に支配されるしかない。闇を脱ぎ捨てて光のほうに出て来ないなら、相変わらず死の力の下に置かれているので、事業の場、職場に困難がやって来て、病気で苦しみ、試練、患難に落ちるようになるのだ。

それでは「霊」とは何だろうか。「変わらないもの、永遠のもの、きよいもの、完全なもの、まことで真理であり、いのちそのもの」を言う。ここで霊とは、神に属する霊のことを言うのであって、神の心である聖なる御霊が私たちの中に来られれば、御霊によって霊を生み(ヨハ3:6)、御霊の実が一つ一つ結ばれるようになる(ガラ5:22~23)。したがって、御霊の実は私たちの心がどれほど霊に変えられたのか測定できる基準値になる。

次に「御霊に属すること」とは、聖霊が私たちのうちに来られて行うすべてのことを言う。祈り、伝道、施し、善行、奉仕など、神の御前に善を行うすべてが御霊に属することである。それで、御霊の実が豊かに結ばれるほど御霊に属することを考えるようになり、結局、永遠のいのちと平安に至れるのだ。

私たちが肉に従っているのか、御霊に従っているのかを知るためには、その行いを見れば簡単に見分けられる。たとえば、誰かが訳もなく右の頬を打ったとき、



Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Global Christian Network

Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcntv.org
e-mail: webmaster@gcntv.org



World Christian Doctors Network

Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ピン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

御霊に従っている人は十字架を負われた主の愛を思って、左の頬も向ける。自分を迫害して嫌う人のために祈り、どんな状況でも悲しんだり気落ちしたりせず、神が望んでおられるとおりに、いつも喜んでいて感謝する生活をするだろう。このように十字架につけられた主を思って、敵をも愛するならば、光である神の愛と祝福を頂くことはもちろん、あらゆる善意と正義と真実によって光の実を結ぶことができる(エペ5:9)。

2. 肉の思いをする人と御霊による思いをする人の違い

1) 神を信じて見つける分野

神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられる(1テモ2:4)。しかし、救われるためには、まず心の戸を開いてイエス・キリストを救い主として受け入れ、神が定められた救いの枠の中に入って来なければならない。すべてのことに答えを頂き、神を見つける体験をするには、いつも御霊に従って、みことばのとおり歩まなければならないのだ。

ところが、肉に従う人は自分の益を求めると神のことばに従うことができず、闇と友になるので神に守られないから、試練、患難に落ちたり、いろいろな困難に会い、事故に遭ったりもする。

一方、御霊に従う人は神を見つけようと霊とまことによって礼拝をささげ、みことばに聞き従おうとするので、神が守ってくださり、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康である祝福を頂いて、神に栄光を帰すようになるのだ。

2) 病気にかかった場合

人々は病気の原因を病原菌に感染したとか、からだに無理が来たせいだと考えるので、治療する方法も病院や薬に頼るようになる。御霊による思いをする人は世の方法を使うよりは神のことばの中から答えを見つけようとする。

〈出エジプト15:26〉に「・・・もし、あなたがあなたの神、【主】の声に確かに聞き従い、主が正しいと見られることを行い、またその命令に耳を傾け、そのおきてをことごとく守るなら、わたしはエジプトに下したような病気を何一つあなたの上に下さない。わたしは【主】、あなたをいやす者である。」とある。すなわち、病気は罪によって来るので、病気にかかったなら、自ら省みてまず自分の罪を悔い改めて立ち返らなければならないのだ。

もちろん、病気の原因には、罪によるもの以外にも、過食や無節制なからだの使用、神経性や精神的な問題による場合もあり、また、敵である悪魔が病気をもたらす場合もある。このようなものも、根本的にはみことばどおりに生きなかったためであることを悟らなければならない。したがって、いやされるためには、みことばを守れなかったことを探して、徹底的に悔い改めて立ち返り、神との間を隔てている罪の壁を全部壊さなければならないのである。

聖書で、神により頼んだことによって病気がいやされた代表的な人物としては、ヒゼキヤ王が挙げられる(II列20:1~7)。ヒゼキヤ王は重い病気になって死にかけていたとき、気を落したり、人間的な方法を使ったりしないで、神に切に祈る。すると神は三日目には病気を完全にいやして、そのいのちを15年も延長してくださった。しかし、歴代誌第二16章に出て来るアサ王は、罪を犯したことによって両足ともひどい病気にかかったとき、神に求めることをしないで世の医者に頼り、結局、死んでしまう。これは、肉の思いは死に至るが、御霊による思いはいのちと平安に至るといふみことばを確かに立証してくれる事例である。

3) 事業など、ある事をしようと計画する時

多くの経営者が最も重要に思うのは、どうすれば利潤を多く残すかという問題である。自分の利益を求めるなら欲が生じ、無理に事業を拡張したり、他人の金を借りて投資したりして、結局不渡りを出し、困り果てる場合が多い。もちろん、努力した分、成功を取める場合もあるが、一寸先を見通すことができないので、徒労に終わることが多いのだ。

これと反対に、御霊に従う人々は食べるにも、飲むにも、何をするにも、ただ神の栄光を現すためにしていく(1コリ10:31)。また、当座の損益を計算するのではなく、真理にかなうことなのか、相手の利益を求めることなのかをよく調べてからするようになる。最終的に何か決定を下す時は、自分のはかりごとと思弁を巡らして思いのままにするのではなく、ただ祈って神のみこころを求める(箴16:3)。今後の事を予知なさる聖霊の声を聞いて働きかけられていけば、すべてにおいて失敗がなく、成功する道に導かれることができる。

したがって、光である神の子どもは、火のように祈って肉の思いを打ち砕き、光である神のことばどおりに行って、光の中にとどまるとき、聖霊の明らかな声を聞いて導かれるようになる。しかも神の働きは御霊に属することなので、何より肉の思いを打ち砕いて、神の力と聖霊の助けによって強くされなければならない。

3. 神の力と聖霊の助けで強くされる方法

〈ローマ8:7~8〉のみことばのとおり、肉の思いがあるほど神に対して反抗するので、光である神のことばを受け入れることができない。光で自分を照らしてみられず、光に入ろうと挑戦することもできないから、神を喜ばせることもできない。

それでは、どうすれば神の力と聖霊の助けで強くされるだろうか。

第一に、火のように祈ることで聖霊に働きかけられなければならない。イエス様も祈りを通して神のわざを成し遂げていかれたので、私たちも祈って聖霊に働きかけられてこそ、罪と義とさばきについて悟り、御霊によって霊を生み、御霊による思いに従うことができる。

第二、神のことばを悟れば直ちに立ち返って行う人にならなければならない。行いのない信仰は死んだ信仰であるから、みこころに従うためには、行いのある信仰を示して神を喜ばせてこそ、神の力と聖霊の助けによって強くされる。

第三、悔い改めのみわざを通して 天から来る恵みによって強くされることが非常に重要である。肉の思いは神に対して反抗するものなので、心を砕いて罪を告白することで神との間を隔てていた罪の壁を壊してこそ、神との和解が成り立つ。心に平安が臨むようになり、聖霊の炎で罪の性質が焼かれて、御霊に属することに従って行える力が与えられるのだ。

愛する聖徒の皆さん、

〈ヤコブ1:17〉に「すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。」とある。肉的なことと御霊に属することを明確に区分し、相変わらず肉的なことをもっぱら考えるのをやめて、御霊に属することをひたすら考え、光の中にとどまられるように。

光の子どもは神が約束なさったとおり、入るときも出る時にも祝福され、貸すであろうが借りることはなく、かしらとなる祝福を受け、求めて、捜して、たたくことはみな答えていただく、驚くべきみわざが体験できるのだ。すみやかに闇から出て、完全に光の中にとどまり、いつも成功して祝福された生き方をされるように、主の御名によって祈る。

「切れた左足首の靭帯が四日目に正常になりました」

イ・ジョン伝道師(韓国3大大27教区長)

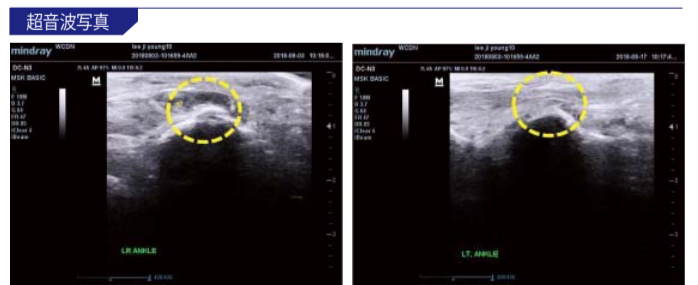
2018年8月2日(木)、何軒か家庭を訪問して、一日中正座していることが多かった一日でした。最後の家庭で訪問礼拝を終えて立ち上ろうとしたら、突然脚の力が抜けて、ペタンと座り込んでしまいました。長く正座していて感覚が鈍くなり、立ち上がると足首がガクツとなってしまったのです。

足首がすぐ腫れてきて、歩くのも大変でしたが、痛みは全くありませんでした。堂会長イ・ジェロク牧師先生のいやしの祈りを受けた後も相変わらずだと、私は父なる神様が私に何か悟ってほしいと望んでおられるのだと思いました。

翌日の8月3日、超音波写真を撮ってみたら、左足首の靭帯四つのうち二つが切れていると言われました。全治4週ぐらいの期間が必要で、ギブスをしなければと言われましたが、私は足首をテープで簡単に固定した後、信仰によって使命を果たし続けました。

8月6日(月)、万民夏のキャンプの初日、講師イ・スジン牧師先生の教育のメッセージを聞いて、私はあまりにも多くの恵みを受けながら欠けていた自分の姿を悟って、悔い改めました。

続いていやしの祈りが始まると、聖徒さんたちが答えを頂けますようにと切に願って、病気の方々を顧みるために席から立ち上がりました。そして歩いて行ったのですが、足首に力が与えられるのです。歩いてみても、走ってみても、全然異常がなかったのです。ハレルヤ!



▲祈りを受ける前:靭帯が切れたことで空間ができて黒く見える。

▲祈りを受けた後:靭帯が正常に回復して空間が詰まっている。

2月支教会スケジュール

2月10日(日)	東京田端万民教会	ハンカチ癒し聖会(講師:チョン・キョンテ牧師)	2月24日(日)	飯田万民教会	創立25周年記念礼拝・日本宣教25周年記念礼拝(講師:イ・スジン牧師)
----------	----------	-------------------------	----------	--------	-------------------------------------



「エイズで死にかけていた私がハンカチの祈りで健康になりました！」

エドウィン・オティエノ聖徒(31歳、ケニア・ナイロビ万民教会)

私は酒、タバコ、女など世のものに溺れていました。ある瞬間からからだが強くなったのを感じて、いろいろな問題が生まれました。皮膚が乾燥してむけて発疹ができ、食欲がなくなって、歩くのが大変でした。

2018年6月、家族が私を病院に連れて行って診察を受けたのですが、3期のエイズだということでした。薬を飲んでも病状はさらに悪化しました。生ける屍のような私の姿を見た町の人たちは、もう一度病院に行ってみなさいと強く勧めました。もう一度検査を受けた結果、結核にまでかかっていたのです。何もできないほど体重が減ったし、息をするのも大変でした。

家族は苦しんでいる私を見て、ずいぶん心配してもどかしく思いました。妹のデボラは私に、教会に来て悔い改めて、いやされると同時に救われるようにと言いました。妹は毎日私の面倒をみてくれて、堂会長イ・ジェロク牧師先生の祈りを受ければ病気もいやされると勧めたのです。ついに私は家族に助けられてナイロビ万民教会に来て、礼拝に参加しました。

2018年7月、初めて教会に来ると、真理の教えに加えて聖徒間の愛を感じました。また、妹が堂会長先生の著書『十字架のことば』を読んで頼むので、読んでみたら感動しました。私のいやしのために父も祈ってくれたし、妹は一週間に一日断食して、私の代わりに悔い改めてくれました。

8月初め、妹は万民夏のキャンプと一緒に参加しようと言いました。私は歩くのもつらかったのですが、妹に助けられて教会に行き、GCNの生放送で韓国で行われているキャンプに参加したのです。堂会長先生が祈って神の力が込められたハンカチ(使19:11~12)で講師イ・スジン牧師先生が全体のために祈ってくださった後、たくさんの人たちがいやされて証しをしていました。私はとても感動しました。

私もいやされるという信仰が与えられました。ところが、その直後、からだが非常に軽いのを感じました。からだのどこにもだるさやつらさが感じられないのです。その後、日に日に良くなって、一人で歩けるようになりました。料理や洗濯などの家事もできるようになったのです。ハレルヤ！

今は食欲も戻って、体重も正常になりました。不治の病気をいやしていただき、霊肉ともに新しいいのちを下された父なる神様に、すべての感謝と栄光をお帰します。



「ハンカチの祈りを受けて、娘の水疱性汗疹がいやされました！」

チ・ヘスン執事(33歳、中国2教区)

2018年、夏を前にますます暑くなる頃、娘カヨン(4歳)の皮膚に異常が生まれました。お尻から首の後ろまで発疹がひどく、よく眠れないで泣いてばかりの子を見ると、とてもかわいそうでした。

時間が経つほどますます症状がひどくなるので、私はそれ以上子どもが苦しんでいるのを見守ってばかりいられませんでした。それで薬局に行くと、良いと言われる薬はみな買って子どもの患部につけたのですが、良くなるどころか、さらにひどくなっていきました。

結局、子どもを病院に連れて行かなければと思って「カヨン、お母さんと一緒に病院に行こうか」と聞くと、「行かない」と言いました。「それじゃ祈り、受ける？」と聞くと、「うん！」と答えたのです。子どもでも、それまで教会に通ってたくさん聖徒さんたちが堂会長イ・ジェロク牧師先生の祈りを受けていやされて証しをするのを見て、聞いて、信仰が与えられたのでしょうか。かえって私より信仰を見せる姿がただけなげでした。

ちょうど万民祈禱院でいやしの集会があったので、慕って子どもを連れて参加しました。集会前、祈禱院の総務、チュ・ヒョン Chol 牧師先生が堂会長先生に祈りを受けて神の力が込められたハンカチでカヨンに祈ってくださった後、子どもの病気が親の過ちによってやって来ると教えていただきました。私は自分自身を省みて、子どもにすぐ癩癩を起し、憤ったことを悔い改めました。

集会が終わった後、正確な診断を受けるためにWCDN(世界キリスト教医師ネットワーク)のチュ・ユンソク博士を訪ねて行きました。その結果、カヨンが「水疱性汗疹」だとわかり、博士もカヨンにハンカチで祈って下さいました。するとその日の夜から症状は目立って良くなり始めました。水泡の上にかさぶたができる、カヨンは泣かないでぐっすり眠ったし、数日後にはかさぶたまで完全に取れて、きれいにいやされたのです。ハレルヤ！

このことを通して、私はいろいろ考えるようになりました。何より、病院に行こうと言っても行かないと言って信仰の告白をする子どもを見て、自分の信仰を省みるようになったし、「神様の力でできないこともできて、できることはもっとできる祝福がまさにこれなんだ！」と悟るようになったのです。すべての感謝と栄光を父なる神様にささげます。

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

• イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石
3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

• イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢
1486-4
T) 0237-43-0771

• イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4
条3丁目11-23
T) 0166-53-0652

• イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

• イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪
2-29-13
T) 03-6915-1740

• 名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅
1-916
T) 052-774-8874

• イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町
4-41
T) 0977-23-8980

• イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3
丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

• 岡山万民教会
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢
3206
T) 0866-57-9691

• イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-
10 サンライフ米須301号
T) 098-914-3027